

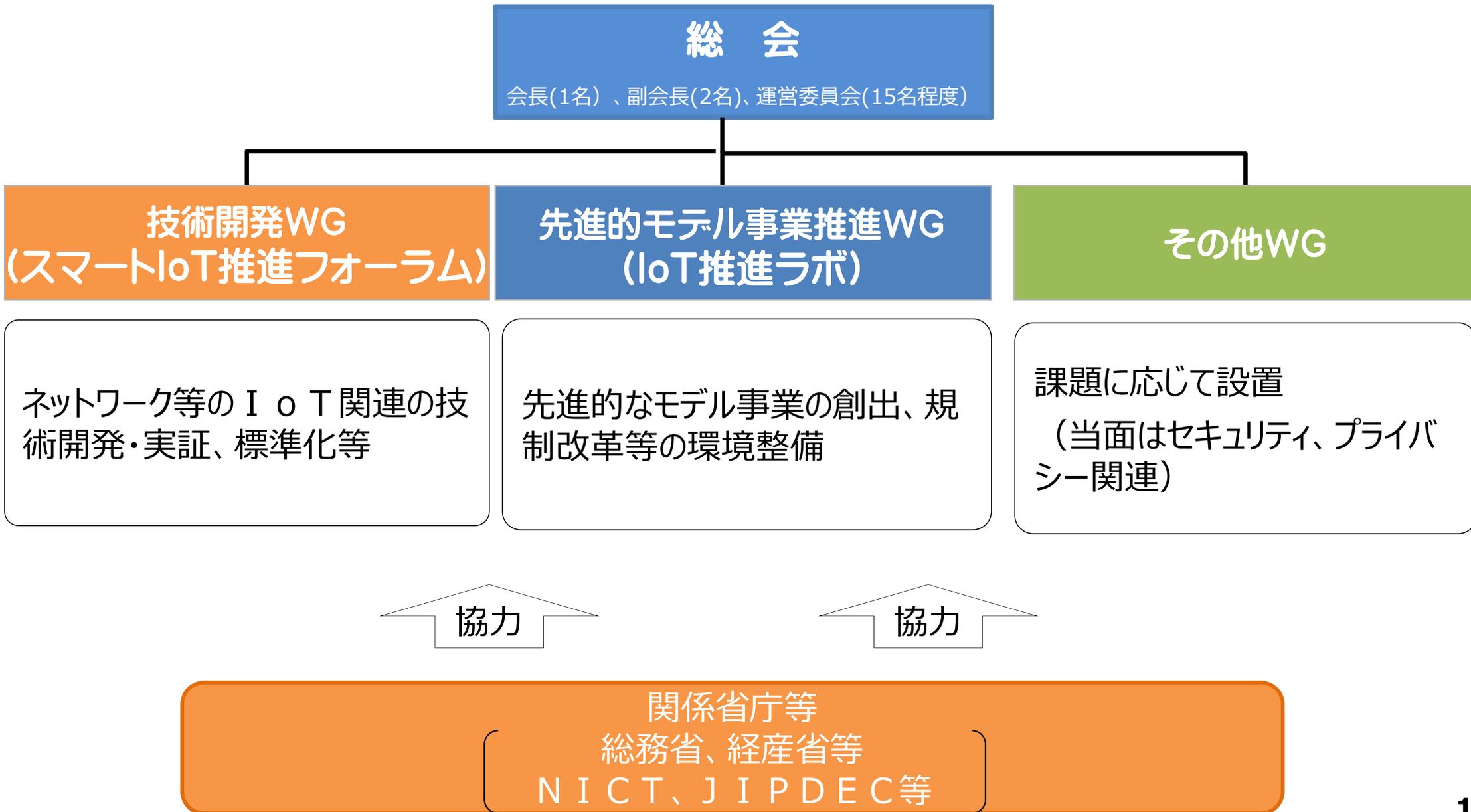
IoT推進ラボについて

平成27年10月

商務情報政策局

IoT推進コンソーシアム（仮称）

- IoT／ビッグデータ／人口知能時代に対応し、企業・業種の枠を超えて産官学で利活用を促進するため、民主導の組織として「IoT推進コンソーシアム」（仮称）を設立。
- 技術開発、利活用、政策課題の解決に向けた提言等を実施。



「IoT推進ラボ設立」の背景

IoT・ビッグデータ・人工知能による社会経済構造の転換期

- IoT・ビッグデータ・人工知能（AI）等の進化により、データが新たな価値を生み、データが社会を変えていく「データ駆動型社会」が現実的に。
- データを活用した新たなビジネスが生まれる一方、既存のビジネスが急速に陳腐化する可能性。



IoT推進ラボの設立と具体的なIoTプロジェクト創出

- 内外の企業がIoTを活用した未来投資を積極的に行い、IoTに係る破壊的ユースケースがスピーティに創出される環境を整備することが重要。
- このため、①企業間連携の強化に向けた環境整備、②IoTプロジェクトに対する資金支援、③課題となる規制改革・ルール形成、④IoT推進のための分野別戦略の策定の政府への提言等を行う産学官の拠点「IoT推進ラボ」を設置。

<IoT推進ラボの4つの機能>

①企業連携

→ベンチャー企業、外資企業、業界を越えた企業間ネットワークを構築

政府への提言

②資金支援

→【短期的に実施する個別プロジェクト】IPA等による資金支援
【中期的に実施する大規模プロジェクト】フィージビリティ・スタディ/実証の実施

③規制改革

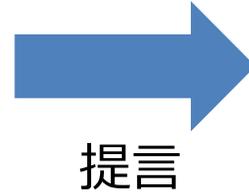
→課題となる規制・制度、ルール等の見直し、整備を推進

④分野別戦略

→IoT推進のための分野別戦略の策定

IoT支援委員会

- ・各IoTプロジェクトに対するアドバイス
- ・規制・制度改革に関する政府への提言



<政府の取組>

①資金支援

- ・ベンチャーを中心とした短期プロジェクトへの資金支援
- ・社会実装に向けた中期のF S、実証の実施

②規制改革

- ・新たなビジネスモデルに必要な規制改革やルールの整備を実現

③分野別戦略

- ・IoT推進のための分野別戦略を策定



IoTプロジェクト発掘・実現イニシアティブ

- ・ベンチャーを中心とした短期的な個別プロジェクトや社会実装に向けた中期的な大規模プロジェクトを創出
- ・テーマ（案）毎にプロジェクトを登録し、会員企業間で情報共有
- ・各IoTプロジェクトに対するIoT支援委員会のアドバイスを実施
- ・各IoTプロジェクトに対する政府による資金支援、規制改革を実施

【テーマ（案）】

製造分野

モビリティ

公共インフラ
・建設

医療・健康

スマートハウス

金融

など



プロジェクトの組成

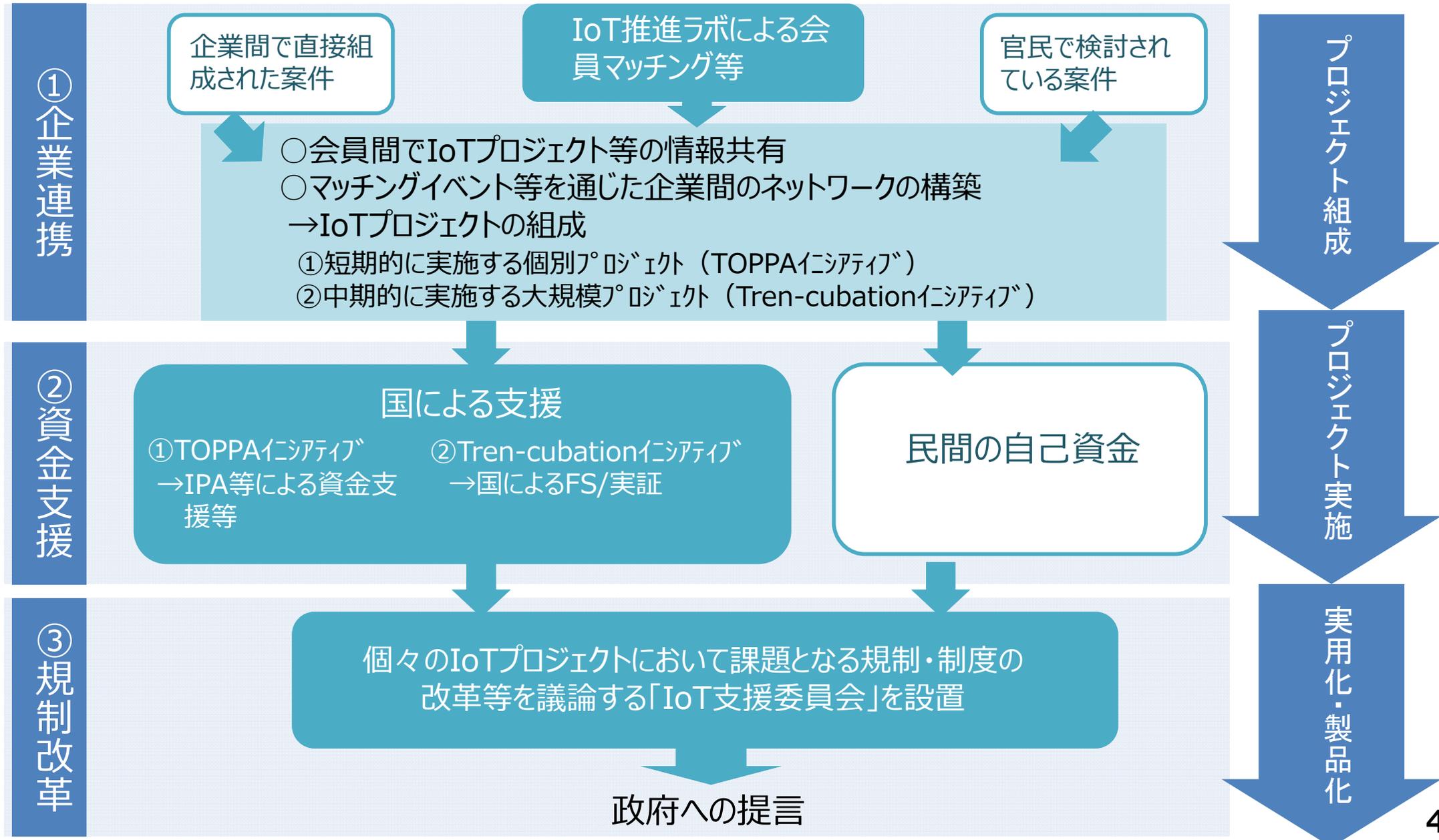
IoT推進ラボにおける会員マッチング等を通じて組成されるプロジェクト

官民で検討・組成されるプロジェクト

企業間で組成されるプロジェクト

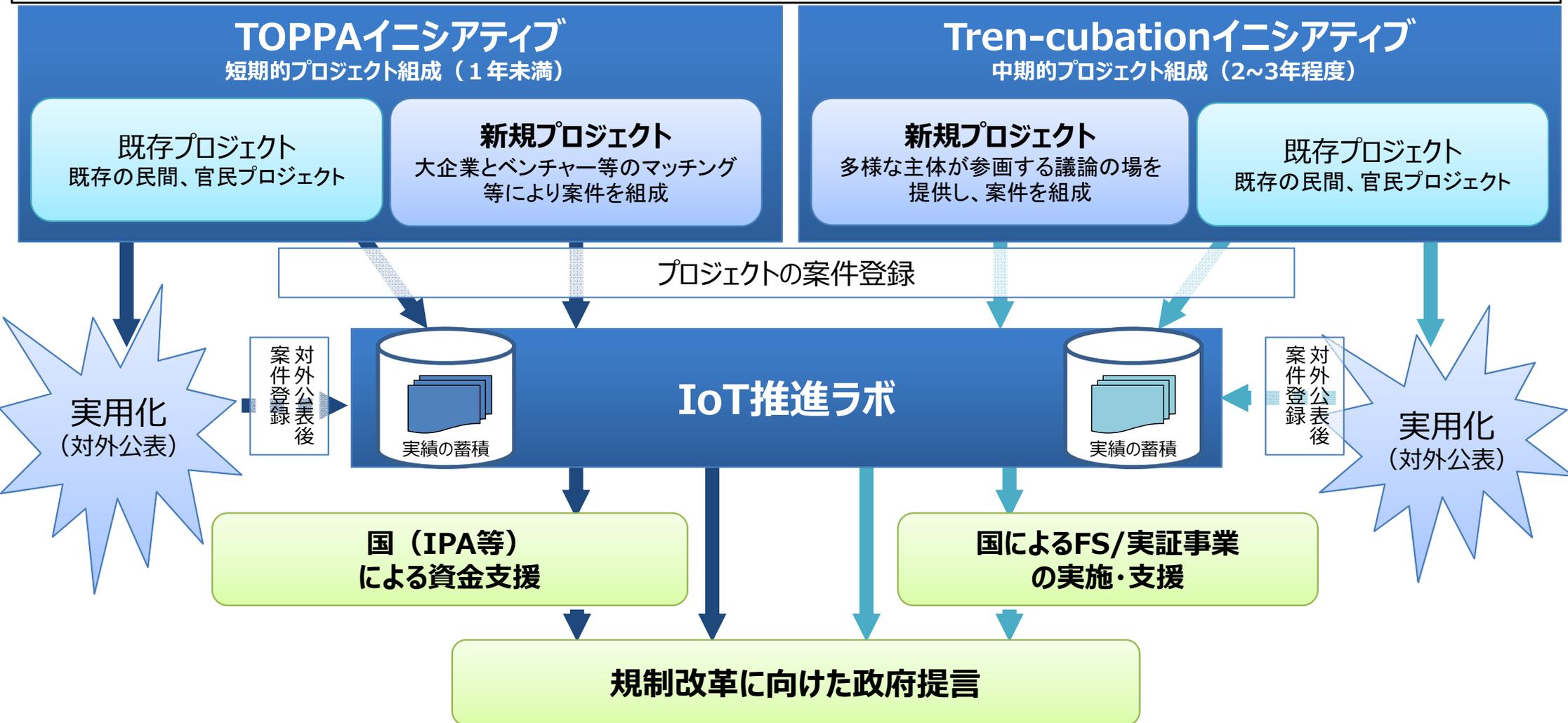
IoT推進ラボの活動の流れ

○IoT推進ラボでは、①IoTプロジェクトの組成、②実施、③実用化・製品化のフェーズ毎に、それぞれ、①マッチング等による企業連携、②国による資金支援、③規制・制度改革への政府提言を実施。



IoT推進ラボ「IoTプロジェクト発掘・実現イニシアティブ」の全体スキーム

- **TOPPAイニシアティブ**では、**短期的な個別プロジェクトの組成**として、データを有した企業とソリューションを有した企業（ベンチャー等）とのマッチング、ピッチ大会等を通じて**AI・IoTを活用した新規プロジェクトを組成**。
- **Tren-cubationイニシアティブ**では、**中期的な業種横断的プロジェクトの組成**として、多様な主体が参画する議論の場の提供し、**規制改革提言や実証等につながる中期的プロジェクトを組成**。
- 既に民間又は官民で取り組まれているプロジェクトも含め、**推進ラボに実績を蓄積し、参加主体である会員に共有**。必要に応じ、**国（IPA等）による資金支援やFS／実証を実施**するとともに、**規制改革に向けた政府提言**を行う。



➡ IoTに係る破壊的プロジェクトの創出、必要な具体的な規制改革・ルール形成を促進

10月23日

総会

- 規約の採択
- WGの設置（主査）
- 構成員名簿

10月30日

IoT推進ラボ（先進的モデル事業推進WG）

- 活動方針
- 個別プロジェクトの紹介、その実現に向けた課題